

地域計画策定に向けた話し合い（北城中部・南部）要旨

日 時：令和6年8月26日（月）18:00～20:00

場 所：白馬村役場201・202会議室

出席者

白馬村農政課	田中（洋）課長、柏原係長、大塚係長、久米主事、中野主事
北アルプス農業農村支援センター	辰ノ口課長補佐
JA 大北北部営農センター	伊藤センター長
白馬村土地改良区	太田理事長
白馬村農業委員会	松沢（正）会長、太谷職務代理
〃	福島（利）委員（㈲マイテカル）
〃	津滝（明）委員（白馬農場㈱）、
〃	松澤（利）委員（㈱中峯ファーム）
〃	横川委員、平瀬委員、太谷委員、矢口（公）委員、下川（浩）委員 塩島委員
農地最適化推進委員	武田委員、矢口（慶）委員
認定農業者	北澤氏、宮島氏、伊藤氏

計 24 名

1. 開会

白馬村農政課 田中課長が開会を宣言した。

2. あいさつ

○白馬村農業委員会 松沢会長

本日は、お忙しい中、白馬村地域計画策定に向けた話し合いにご参集いただき感謝する。地域計画とは、以前までの、人・農地プランが、法律改正により令和5年4月から地域計画となり、作成が義務付けとなった。昨年11月に懇談会も開催し様々なご意見を頂いた。また、地域計画に添付する目標地図は、今後、全国的に農業従事者の激減が予想されているため、概ね10年後、地域の農地を、どの認定農業に託すか、お願いするかを、話し合いにより、地域の農業委員会が素案を作成する。昨年11月以降、白馬村農業委員会では何度か話し合いを行い、現況地図を作成した。

本日は10年後の耕作予定者について、お集まりの皆様にご意見を頂き、素案を作成し11月の懇談会で示したい。その後、令和7年2月までに村が地域計画とともに公表する予定である。優良農地確保という面では、神城地区は、ほ場整備が完了しているが、北城地区は、現在、深空地区周辺、真畔地籍は工事中であり、新田周辺は、ほ場整備申請に向け準備が進んでおり、これに伴い農振農用地の見直しも予定している。

白馬村の農業は観光と並ぶ産業のひとつで、農地は景観形成という側面も持っている。本日は、限られた時間だが、村の農業の将来のために、共通認識を図りたいと考えているので、よろしく願いたい。

2. 現況地図に基づく話し合い

○白馬村農政課 大塚係長が別紙資料1～6について説明した。

資料1 「地域計画」「目標地図」策定における農業委員会、認定農業者の役割について

資料2 白馬村の認定農業者（担い手）の状況について

資料3 ほ場整備の状況について

資料4 農業振興地域整備計画の見直しについて

資料5 第23回 白馬村の農林業（農地利用の意向アンケート）

資料6 地域計画パンフレット

○白馬村農政課 久米主事が別紙資料、認定農業者、色分け凡例、農業振興区域について説明した。

○出席者が現況地図を基に北城地区目標地図について意見交換した。結果は11月の懇談会までに目標地図に反映することとした。ただし、北城南部ほ場整備区域については北城南部ほ場整備実行委員会にて審議することとなった。

4. 閉会

白馬村農政課 田中課長が閉会を宣言した。